

25年9月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成25年 8月20日～ 9月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
9月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		25/9月	10月	11月
入荷動向	スギ	16.7	16.7	33.3
	ヒノキ	25.0	0.0	25.0
	カラマツ	50.0	33.3	33.3
	トドマツ	0.0	50.0	50.0
消費動向	スギ	50.0	33.3	33.3
	ヒノキ	50.0	25.0	25.0
	カラマツ	50.0	33.3	33.3
	トドマツ	0.0	0.0	50.0
在庫動向	スギ	△ 16.7	0.0	16.7
	ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	0.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	50.0	50.0

国産材原木入荷は、スギ及びカラマツはプラス基調で推移、ヒノキは9月のプラスから10月の横ばいを経て11月は再びプラスに、トドマツは9月のゼロから10,11月はプラスに。
消費は、スギ、ヒノキ、カラマツともにプラス基調で推移、トドマツは9,10月の横ばいから11月はプラスに。
在庫は、スギは9月のマイナスから10月の横ばいを経て11月はプラスに、ヒノキは9,10月のマイナスを経て11月は横ばいに、カラマツは横ばい、トドマツは9月横ばいの後、10,11月はプラスに。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	25/9月	10月	11月
スギ	0.0	16.7	0.0
ヒノキ	25.0	75.0	75.0
カラマツ	33.3	50.0	50.0
米マツ	0.0	25.0	25.0
北洋カラマツ	20.0	40.0	40.0
その他	100.0	100.0	100.0

原木価格は、スギが9月の横ばいから10月のプラスを経て11月横ばいに、ヒノキ、カラマツ、北洋カラマツ及びその他はプラス基調で推移。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

・8月入荷調整、9月は通常入荷を計画。全樹種消費増加。在庫は計画通り推移。・スギ、カラマツは生産に合わせての入荷。生産品目に合わせての消費。ほぼ適正在庫。・スギは8月末在庫多く9月は入荷量制限、ヒノキは在庫少なく入荷増やしたいが出材少なく予定量が入荷されない。消費は9月は稼働日多くドライヤーもフル稼働で消費増加を予定。在庫はスギは入荷制限のため在庫は若干減少、ヒノキは在庫少なく、増やしたいが出材少ないため在庫減少。・トドマツ在庫は季節柄減少。・カラマツ原木は多雨により出材減。・安定して入荷、木材利用ポイントがらみの出荷増含め消費増。

25年9月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		25/9月	10月	11月
生産動向	構造用(9mm)	14.3	△ 14.3	△ 14.3
	〃 (12mm)	28.6	28.6	28.6
	〃 (15mm)	28.6	0.0	14.3
	〃 (24mm)	42.9	42.9	28.6
	〃 (28mm)	42.9	42.9	28.6
出荷動向	構造用(9mm)	28.6	28.6	14.3
	〃 (12mm)	42.9	28.6	14.3
	〃 (15mm)	16.7	16.7	16.7
	〃 (24mm)	33.3	33.3	16.7
	〃 (28mm)	16.7	33.3	16.7
在庫動向	構造用(9mm)	△ 42.9	△ 42.9	△ 42.9
	〃 (12mm)	△ 42.9	△ 42.9	△ 42.9
	〃 (15mm)	0.0	△ 14.3	△ 14.3
	〃 (24mm)	△ 28.6	△ 28.6	△ 28.6
	〃 (28mm)	△ 14.3	△ 28.6	△ 28.6

生産は、12mm、24mm、28mmはプラス基調で推移、9mmは9月のプラスから10、11月はマイナスに、15mmは9月のプラスから10月の横ばいを経て11月はプラスに。
出荷は、全てが3ヶ月連続のプラスに。
在庫は、15mmの9月の横ばいを除いて全てマイナス基調で推移。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	25/9月	10月	11月
構造用(9mm)	57.1	33.3	33.3
〃 (12mm)	57.1	33.3	50.0
〃 (15mm)	66.7	20.0	40.0
〃 (24mm)	57.1	66.7	66.7
〃 (28mm)	66.7	40.0	40.0

構造用合板出荷価格は、総じて強含み、ないし強保合。

モニターからのコメント

(合板荷動き)

・生産は一部品目で納期の遅れ、品目の切替と増産を計画。出荷は需要先が安定。在庫は8月稼働日数少なく全品目で減少。・生産は24mm、28mmは木材利用ポイントにより増加し、9mmからシフト、12mm及び15mmは変化なし。出荷は9mm、15mmは横ばい、12mm、24mm及び28mmは増加と見込む。在庫は元々少なく多少の在庫減と思われる。・在庫無く発注に合わせた生産。夏工事の遅れで15mmの出荷続いて増、その他は生産即出荷量。在庫は最低限のまま、増える状況にない。・製品在庫なく納期に追われている。出荷イコール生産量、在庫なしがしばらく続きそう。・フル生産の状態、消費税、金利、木材利用ポイントがらみで引き合い多く一部製品に欠品、在庫は更に減る予感。

(合板価格) ・全品目で上昇を期待。・全体的に値上げとなる。・原材料、電気、運送料のコストアップが考えられる。・物不足は続いているが価格は落ち着いている。・電気料等外部的因でコストアップ。